

●REPA 正会員野池達也(東北大学名誉教授)が執筆 (2018-12-3)



東北大学名誉教授野池達也(REPA)正会員が、「実践する科学の倫理」- 医の倫理、理工・AIの倫理(編著者 梶谷剛 浅井篤 2018年9月20日発刊 社会評論社)の第7章にて、氏の長年の学研活動、豊富な人生経験・人との出会いから、(7-1節)人生の選択、(7-2節)ライフワークの選択と恩師との出会い、(7-3節)いのちの尊厳について、など感銘を受ける執筆がなされておりますので是非ご一読ください。また、(7-5節)東日本大震災・原発事故とメタン発酵実験にて、REPAの霊山プロジェクトの内容が紹介されています。

●季刊誌「環境施設」での REPA 活動の紹介 (2018-12-3)

季刊誌「環境施設」で、2018年12月号から4回シリーズ(一年間)で、REPAの活動を「再生可能エネルギーの地域貢献への挑戦」と題して紹介して戴くことになりました。

第1回ではスタートに当たりを尾園代表理事が、そのあと堀内道夫理事が、再生可能エネルギーの出番(欠点の克服)、水力発電の将来(特に小水力発電への様々な提言)などについて紹介します。詳細は、図書・執筆・講演を参照ください。発刊元の公共投資ジャーナル社 HP の”環境施設”もご参照ください。

<http://www.kt-j.jp/004mokuji.html>

●REPA 情報交換会・事務局会議・忘年会 (2018-12-13)

12月13日、千代田図書館第1研修室で情報交換会・事務局会議(その後懇親会)を開催します。関係者はご参加ください。

●里山活性化講演会(広島県・世羅町) (2018-12-16)

2018年2月27日に引き続き、大見自治センターにて市橋理事の里山整備・活性化の経験のご紹介と、前回の講演でお伝えし切れなかった内容を補足しました。講演は市橋理事が経験した千葉県で実施した「木質バイオマスエネルギーを活用したモデル地域づくり推進事業」(2013年～2015年度、林野庁/環境省委託事業)のご紹介に加え、再生可能エネルギーを巡る動きの背景にある地球環境・温暖化の問題の背景の考え方のご紹介を行いました。さらに、講演後、参加者による「講師を囲んで」ということで、脱温暖化に関する議論が行われ、問題意識と理解の共有に資する討論を行うことができました。



講演する市橋理事